

## 縮小のマーケットに向かって ふたまたわり目のシーズン

船出して約一年半、この不況の中、荒波に揉まれながらも沈没せずに、少しずつですが前に進んでいるようです。こんな時には分母が小さい方がいいなどと、自分に都合の良い勝手な解釈で、自分を慰め激励しています。幼児期が最も危険な時だといいますが、正直なところよくここまでもったなど、我ながら思います。小さくなっていくマーケットの時代、勇気を持って、知恵を絞って頑張ります。

春物展は二回目、新しいデザインスタッフの加入で大いに気炎は上がっています。

請うご期待

### 一九九四 春物展

十一月九日(火)～十一日(木)と翌週

十六日(木)～十八日(木)

小社にて開催します

今回は上ロ陽な色日に重点を置きました。

編み地は、フルシーズン着用出来るようハイゲージを少し増やしました。もちろんこの頃好調なミッドルゲージも充実です。

シルエットは基本的にはゆったり・ロングが主体です。

素材としては従来からの100%天然糸素材に、雰囲気や季節感を出すために少し人口繊維をプラスした素材も入れました。


相変わらず展示会の多い時期ですが、なんとか時間を作って、是非御来社ください。

\*秋冬物の混物も安くサービスさせていただきます



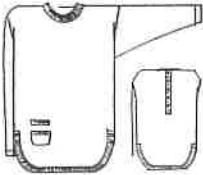
### 今これが売れています

タスマニアウール使用  
差し込み商品として作ったNO1117のクルーネック版です、分量感と脇スリットが今っぽい、パープルがダントツでグレイ、ブラックの順実需期にはいって来た、追加が復活してきました。




NO. 1117A W100%  
上代¥16,800

10月末投入の商品ですが、反応が早い商品試着したら買ってくれる、ということでも最も期待している商品です。  
展示会でも先回NO1だった店頭でも売れ始めた幸せ者です。  
これも今のところパープル、グレイがベスト淡いピンクとベージュが続いています。  
でもベージュは終りです。



NO. 1150 W100%  
上代¥24,800

カットソー



NO1145 W75% NY25% ¥22,800  
NO1148 W100% ¥22,800  
NO5063 W100 ¥9,800 (差し込み)

### 南青山境界隈

青山通りと骨董通りのぶつかる丁字路のかどに、**和礼ノ国産屋**という食料品のスーパーマーケットがあります。

この辺では最も有名なお店でしょう。四十年前も前に出来た、日本で最初のスーパーだそうです。もちろん、新宿にある本屋の紀の国屋とは関係ありません。

スーパーといってもダイエーやイトーヨーカドーなどと違い、超高級なものです。在外高官やエグゼクティブの多い青山界隈ならではの食料品店です。

店内には、世界中からめずらしい食品が集められています。

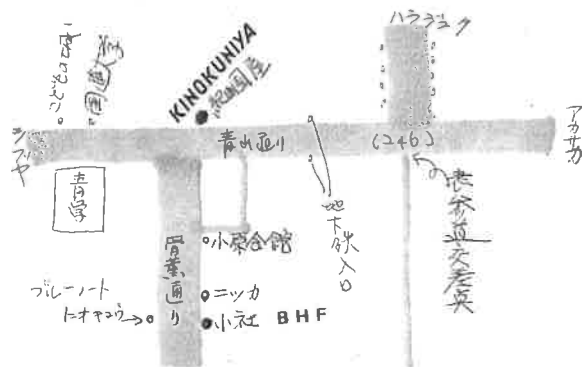
並んでいる商品には、原産国が小さな国旗で表示され、とても分かりやすくオシャレです。スパイス、ワイン、チーズなどの乳製品、オリブ漬けやピクルスの缶詰、パスタ等々。名前も

聞いたことがない食品も多く、世界にはこんな色々な食べ物があるのかと感心してしまいます。特にワインはみごとです、それがカッコよく並べられて、全く飲めない私でさえも、眺めているだけで楽しくなっています。

ここは料理を作るのが好きな人にとっては、たまらないそう。他ではなかなか手にはいらない食品を求めて、遠くからわざわざ来る人がたくさんいるそうです。

雰囲気はバッグンで、サービスも至れり尽くせりなんです、なにせ値段が高いです。こんな店で毎日買い物していたら、家計は破産してしまえそうです。

でも日本に駐在している外国の人達にとっては懐かしい故郷の味と出会える、貴重な店のようなんです。



リフレッシュ



山歩きのおすすめ

小学生の頃から、捕虫網を持って、野山で蝶を追いかけて昆虫少年だったせいか、いまだに野山や高原を歩くのが大好きです。

山や木々の緑の中になると、頭の疲れがジンワリと取れていくような気がします。

最近はお蝶のかわりに、ゴルフボールになってしまいました。リフレッシュは、自分には緑が一番効果的があるような気がします。

本日は、緑のフェアウェイを歩けば最高なんです。なにせ貧乏会社をスタートしたばかり。経済的にも精神的にもまだまだ余裕がなく、もっぱら近場の山歩きでこまかしているのが現状です。

山歩きなら、北アルプスや南アルプス等の雄大な山々を歩きたいと思うんですが、こちらは時間と体力に自信が無いもので、もっぱら日帰りの山歩きです。

日帰りの良さは前日、明日の天気予報を見てから決められることです。『今日は八ヶ岳の美しい森ま

で行って、レンゲツツジを見てこよう』とか。『マツムシソウが咲いているはずだからクジャクチョウに逢いに入笠山まで』とか。『今回はカラマツや白樺の芽吹きを見に、蘂科の和田峠まで行く』と、とうとう、一か所集中型にすれば、八ヶ岳山麓や蘂科・霧ヶ峰高原等は日帰りで十分とまでは行かなくても、ケッコウ楽しめます。

超近間の高尾山ぐらいいなら、屋過ぎからでも出掛けられますし、2〜3時間歩くだけでもリフレッシュできます。

景色の雄大さには物足りないんですが、足元の小さな花や虫たちも彼等なりに一生懸命に生きているのを見たり、懐かしい蝶に出会ったり。

小学校の遠足のようにですが、新鮮な空気の中で食べるお昼はやはり最高です。

靴だけは底の曲がらない丈夫なものがいいと思います。それに、近くの場合でも列車で行くようにしています。疲れたときの車の運転は好きでないし、のんびり車窓を眺めながらの気分がまた良いんですよ。

東京は広い関東平野にあるので、山までは遠いので、すぐ近くに山がある人は羨ましい。

でも近くにあるところには案外行かないんですよ。

たより英 井元専務務を悼む

先日十月十七日、(株)たち英の井元専務が亡くなられました。まだまだお若く、バリバリで仕事をなさっていただけに、御本人や御家族の悔しさは、いかにばかりかとおもいます。

半年ほど前、順天堂を退院されてお話ししたときも、御自分の病気の事よりも、スタートしたばかりの小社のご事を心配して頂き、かえってこちらの方が励まされるばかりでした。

本日に残念でなりません。

今では、心づかいの優しくった井元専務の御冥福をお祈りするばかりです。

どうか安らかに

合掌

本のみ話

ニット屋になる前は海外旅行の添乗員でした。チャンスがあったら是非お薦め

ルネッサンスの花開いた街 イタリア フィレンツェは

街が最高の芸術作品

知人で、イタリアに行く人がいたら、『チャンスがあったら絶対に寄ったほうがいいよ』と押し売りのように薦めるとこがフィレンツェ。英語読みでフロレンス、花の都という意味。(きれいな名前前ですね) 学生時代に習った、ルネッサンスが花開いた、あの芸術の都フィレンツェです。



ローマとミラノのちょうど中間にあり、どちらからも三時間ぐらいいで行ける距離です。

なぜそんなにこの街が気に入っているかと言つと。花の聖母寺院(ドット

ーモ)という美しい寺院を中心に、建物や広場、狭い石畳の通り等、街全体が中世そのままに残されていて、その狭い通りを歩いていると、なんだかその時代にタイムスリップした様な、いい気分になれるんです。

しかし建物の中は、もちろん現代そのもので、アルマーニの店もクリッツァの店も、ここが発祥地で本店を構えるグッズも全く違和感なく、ピッタリと現代のこの街に収まっているんです。

フィレンツェの街を一望にできる丘にあるミケランジェロ広場。ここから見えるフィレンツェの街は、石造りの建物に赤レンガ屋根、ひととき大きな

ドゥオーモのドーム。足元をアルノ川がゆったりと流れ、そこにはボンテヴェッキオという屋根の付いた古い橋が架けられています。この景色は、まるで天才画家が書いた偉大な芸術作品のようです。

この街はどこへでも歩いて行けるぐらいいのじびんまりした街ですから、ちょっと歩いただけで、ミケランジェロやレオナルド・ダヴィンチ等の天才の作品に、いとも簡単に出会ってしまいます。

それらの芸術作品が、現代にとっても自然に調和しているんです。

フィレンツェで最も有名な美術館。ウフィッツィ美術館に収められた作品も、単に展示されているというより、オーナーが以前からずっとそこに掛けて生活の一部として毎日使っている雰囲気なんです。ここで最も印象深いのがポッティチェッリの『春』(プリマペーラ)です。

この絵との出会いは、本当に突然でした。何気なくこの絵のある部屋に入ったのですが、正面の壁に大きなこの『春』の絵が目に入ったとき、さすが鈍感の私でも足が震えるほど感動してしまいました。ガラスも何も遮るものがなく、人間が書いたとは思えないくらいスゴイ名画が、いきなり自分の前に現れたのですから、もうビビクリです。そしてふと気が付くと、横の壁には海から生れ出たという伝説から生まれた、ヴィーナスの誕生が掛けられているのです。



ポッティチェッリの『春』(プリマペーラ)

これだけ見られただけでも、フィレンツェまで来たかいたいがあります。

\*ここフィレンツェ近郊は、イタリアの中でもニットの産地として有名なところなんです。世界で最初にニットのギルドが作られたのも、ここフィレンツェなんです。